

家族と離れて一人で暮らすご高齢者の安否を、そっと見守るサービスです。

Net M! 株式会社ネットミル

TEL.03-6240-8561 FAX.03-3894-2632
URL <http://www.netmil.jp/>

代表者：代表取締役 吉川 裕

所在地：〒116-0011 荒川区西尾久5-7-12

資本金：800万円

従業員：8人

創業年：平成23年

業種：通信サービス業

事業内容：独居高齢者の安否確認・見守りサービス



吉川 裕
代表取締役

ネットワークから生まれた新サービス

平成23年7月にMACC会員でもある志幸技研工業株式会社の関連会社として創業され、新たな安否確認・見守りサービスを提供している。



生活リズム表示

このサービスは、吉川社長が電流の計測による新たな見守りサービスを検討していた際に、財団法人電力中央研究所が同様の研究を進めていたことを知り、お互いに手を組み実用化したものである。実用化にあたっては、研究所が開発していた既存のシステムに、吉川社長の経営者としての意見をふんだんに取り込むことで、より利用者の利便性に配慮したシステムとなっている。

平成23年より、国際福祉機器展・中小企業総合展等に出席し、注目を集めたほか、全国の介護事業者・福祉関連事業者等と事業展開について商談が進んでおり、全国的な普及が期待される。また、スマートメーターやHEMSとの連携もすすんでいる。



展示会での様子

実証実験でも認められた高い精度

「IOT ネットミル見守りサービス」は、家庭での電力使用量を測定し、高度なアルゴリズムによって生活リズムを判断・学習することで、異常が発生した際にあらかじめ登録しておいた家族などに通知する安否確認・見守りサービスである。

電力使用量は、電気機器を積極的に使っている場合とそうでない場合や、在宅の場合と留守の場合などで電流値の変化としてとらえることができ、このサービスはその変化を利用している。具体的には、1分間隔で計測された30個の電流値から計算して、主体的に機器を使っているかどうかを、過去30分間の電流変化から推定する。この電流変化量のデータから在宅して生活しているかを自動的に判断し、安否を把握する。各家庭、季節によっても電気の使い方は

異なるが、このサービスで利用するアルゴリズムは高い精度を誇り、既にも実証実験でもその信頼性が証明されている。平成26年8月より荒川区も採用し、拡大中。



IOT 見守り装置と分電盤



スマホネットミルアプリ

既存の問題点を解消する IOT見守りサービス



当社の見守りサービスは4つの大きな特徴がある。一つめの特徴は、設置が簡単なことである。分電盤に装置を取り付けるか電力会社のスマートメーターから電力データを取り込むか選択できるハイブリット型。二つめは、どこでも利用可能なことである。通信は内蔵されたLTE回線を利用するため、自宅にインターネット回線や電話回線がなくても利用できる。また、電流を計測するため、地域間の仕様変更なども不要である。三つめは、プライバシーに最大限配慮していることである。電流を計測するだけなので、誰かに見られている違和感を覚えることがなく、普段通りの生活をする中でそっと見守ることができる。四つめは、導入・運用の負担が小さいことである。機器だけでなくシステム全体をクラウド型のサービスとして提供するため、システムが簡素化され大規模な展開にも対応することができる。

これらの特徴を武器に、既存の見守りサービスが抱えていた問題点を解消できることが強みである。更に、電力会社が進めているスマートメーター（ブルー）との接続により、正確で多様なIOT見守りサービスへと進化している。

◎主な認証・実績等

- ・平成24年 ネットミル商標登録
- ・平成25年 見守りシステム特許申請済